

環境・エネルギー分野

研究領域

「低炭素社会の実現に向けた高度エネルギーシステムに関する研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	マルチモーダル地域交通状況センシングとビッグデータ解析に基づくエネルギー提案祖社会実現を目指した新興国におけるスマートシティの構築（M2Smartabad）		
研究代表機関	名古屋電機工業株式会社 グローバル事業推進室		
相手国	インド	主要相手国 研究機関	インド工科大学ハイデラバード校
研究課題の概要			
<p>本研究は、交通量増加の著しいインドにて、エネルギー消費の低減と、低炭素スマートシティの実現に向けた研究開発および適応戦略手法の開発を目的とする。具体的には、情報通信技術を活用した交通量センシングで収集した交通ビッグデータと、交通信号機の動的制御を基に、人・モノの移動をシミュレーション解析し、エネルギー消費削減にむけた最適交通手段選択を情報端末に提供するシステムを研究する。研究成果はインド工科大学ハイデラバード校に構築する交通プラットフォームのシステム化とアーメダバード市内交通2路線での実証実験により、都市全体の低炭素効果のモデル構築と適応戦略手法へのフィードバックに活用し、標準化へのガイドラインとしてインド社会はじめ、アジア周辺地域にも適用可能なものとする。研究終了時まで産・官・学連携による地域コンソーシアムを中心に対象地域拡大と本仕組みを他の新興国への展開を目指すとともに、日本の高齢社会でのマルチモーダル化（複数の交通手段の連携）に生かす。</p>			